

# 「鮮やかな自己変革を」



## 満開の桜と共に入学式 日高学長、新入生を激励

# 三 一 一 専修

【専修大学】ホームページ

http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行  
(定価一部90円)  
発行所  
専修大学広報課  
〒101-8425 東京都千代田区  
東神田神保町3-8  
☎03-3265-5819(直)

### 主なニュース

- 日高義博学長式辞／学部長・大学院研究科長・  
法科大学院長からの歓迎メッセージ……………2
- 入学式・オリエンテーションフォト特集……………4
- 09年度入試結果／出身高校別合格者数……………5
- 卒業生が教える専大の歩き方……………7
- テレビCM第3弾 歴史があるから、明日を語れる……………8
- 石巻専修大学 入学式／新学部長・研究科長紹介……………9
- 北海道短大 入学式・新入生歓迎レセプションを開催……………12

2009年度の専修大学入学式が4月5日、東京・千代田区の日本武道館で行われた。桜が満開となったこの日、新入生4833人(6学部4662人、大学院5研究科124人、法科大学院47人)を、つめかけたご父母ら約6000人が祝福した。

日高義博学長は式辞のなかで、今年9月に創立130年を迎える専修大学の創立者が志した「建学の精神」と現在、本学が掲げるビジョン「社会知性の開発」について触れ、「自ら考え、自ら問題を解決する知力が重要だ。皆さんはすでに社会知性の開発の第一線に立っている。130年の歴史と伝統を持つ専修大学で学ぶことに誇りと自信を持って、鮮やかな自己変革を遂げ、人間性豊かな専修人になってほしい」と呼び掛けた。

ご父母の会である育友会の日南川裕一会長が同会の活動を紹介。新入生を代表して宇田川奎さん(法学部・東京都専大附属高)が力強く宣誓した。

歓迎プログラムは、専修大学フィルハーモニー管弦楽団、全学応援団チアリーダー部をバックにラテンポーカーリストのやまもときょうこさん(平3商)が熱唱。歌と演舞で新入生を歓迎した。

〈2面に日高学長式辞〉

## 心理学棟(仮称)の地鎮祭行われる 生田キャンパス

完成イメージ図



表者および大学関係者約40人が出席。祝詞奏上その後、鉄入れ、玉串奉奠などを行い、全員で工事の安全を祈願した。写真。

この建物は大学院文学研究科心理学専攻の施設として使用され、2階建てで延べ床面積1558平方メートル。1階は大学院心理学関係施設を集約し実験・実習室が、2階には研究室などが設けられる。

完成は9月の予定。

完成予定は今年9月  
文学研究科心理学専攻の施設に  
心理学棟(仮称)の新築工事地鎮祭が3月26日、生田キャンパス正門近くの工事予定地で執り行われた。大学側から日高義博理事、学長、設計の(株)設計室、施工の鹿島建設(株)の代表者らが出席した。



「川崎を元気に！」笑顔の修了生の皆さんと指導教員



## 「KSコミュニティ・ビジネス・アカデミー」1期生修了式



文部科学省「社会人の講義と現場体験を終えたための学び直し」に「KS(川崎・専修)コミュニティ・ビジネス・アカデミー」1期生の「卒業発表会」が3月28日、サテライトキャンパスで行われた。阿部孝夫川崎市長があいさつで受講生を激励。受講生たちは、習得した知識とノウハウをもとに「川崎を元気に」、「市民(力)による連携について」、「交通不便地域への新しい交通システムの提案」などのプランを報告した。

同31日には、修了式がサテライトキャンパスで行われ、26人に履修証明書が渡された。第2期は5月からスタートする。

テレホンサービス  
(お知らせ・緊急連絡)  
**0180-994-994**  
本紙へのご意見をお聞かせください  
koho@acc.senshu-u.ac.jp

## 高い志とスキルでコミュニティ・ビジネスの最前線に

◇ニュース専修とは……  
キャンパスライフに役立つ情報や学生寄稿、体育会の活躍・試合予定などを掲載して毎月15日に発行しています。生田キャンパスでは120年記念館(9号館)をはじめ、学生生活課前、学生食堂などに、神田キャンパスでは1号館地下1階のラックにありますので、ご自由にお持ちください。育友会員の皆様には、育友会から送付いたします。

## 神奈川県立の図書館と相互協力

図書館では、神奈川県立の図書館と相互協力の協定を結んだ。これにより神奈川県立図書館および県立川崎図書館の利用カードを持つことができる。本学図書館の利用を希望する方は、登録料1000円(年度更新料500円)で、書籍の貸し出しを含めて生田キャンパスにある図書館の利用ができるようになった。詳細はホームページで。

☎044(91)1276

## 板坂ゼミ生が尽力



江戸末期から明治にかけて活躍した浮世絵師・月岡芳年の作品展が4月24日まで、生田キャンパス図書館修室で行われている。「雪月花」、「修紫田舎源氏」、「月百姿」など後期の代表作80点が展示されている。日本文学文化専攻の板坂則子ゼミの学生や大学院生がポスターやしおりを作成、ホームページの特設サイトの製作のほか、展示物の配置などに尽力した。詳細は次号で。